

別紙

アヲハタ株式会社ジャム工場 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

アヲハタ株式会社 ジャム工場

(2) 事業所の所在地

広島県竹原市忠海中町一丁目2番43号

(3) 業種

0931 野菜缶詰・果実缶詰・農産物保存食料品製造業（野菜漬物を除く）

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

平成26（2014）年度を基準とし、平成27（2015）年度から平成27（2015）年度までの1年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

アヲハタグループは、瀬戸内海沿岸にある風光明媚な広島県竹原市や、最上川が流れる自然豊かな山形県大石田町に立地し、主にジャム類や調理食品などの食品の製造・販売を行う企業グループとして、環境保全活動を社会的責任と理解し、地域・社会から信頼される事業活動を進めてまいります。

2 方針

(1) アヲハタグループの事業活動・製品及びサービスに係わる環境関連法規・規則・協定およびアヲハタグループが同意するその他の要求事項を順守します。

(2) アヲハタグループの事業活動・製品及びサービスが環境に与える影響を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

(3) アヲハタグループは、環境目的・目標を設定して、全構成員で環境保全に取り組むとともに定期的な見直しをします。

(4) 以下の項目を本来業務の目標管理と連動し、環境管理重点テーマとして取り組みます。

①事業活動におけるエネルギー消費量の削減に努めます。

②廃棄物の削減、再利用再資源化を推進し、高度処理に努めます。

③アヲハタグループ全体の環境保全諸施策を計画推進します。

④地域の環境保全活動を積極的に推進します。

(5) 環境方針は、全構成員に配布し周知します。

また社外にも開示します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成26年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	t-CO ₂	5,760 t-CO ₂	5,760 t-CO ₂

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成26年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成26年度	直近年度 平成26年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量 (t)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (t)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 26 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 27 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	5,760	14,861	0.388	1.0	5,702	14,861	0.384
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	5,780	14,861	0.388	1.0	5,702	14,861	0.384
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方	毎年、原単位 (t) で 1% 削減						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量原単位1%減	設備の効率運転・省エネ機器への転換
2	燃料使用量の削減	LPG使用量原単位1%減	熱源パトロールを行い、蒸気使用時のロスを抑える 蒸気使用量の可視化を行い、エネルギーの無駄を省く
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

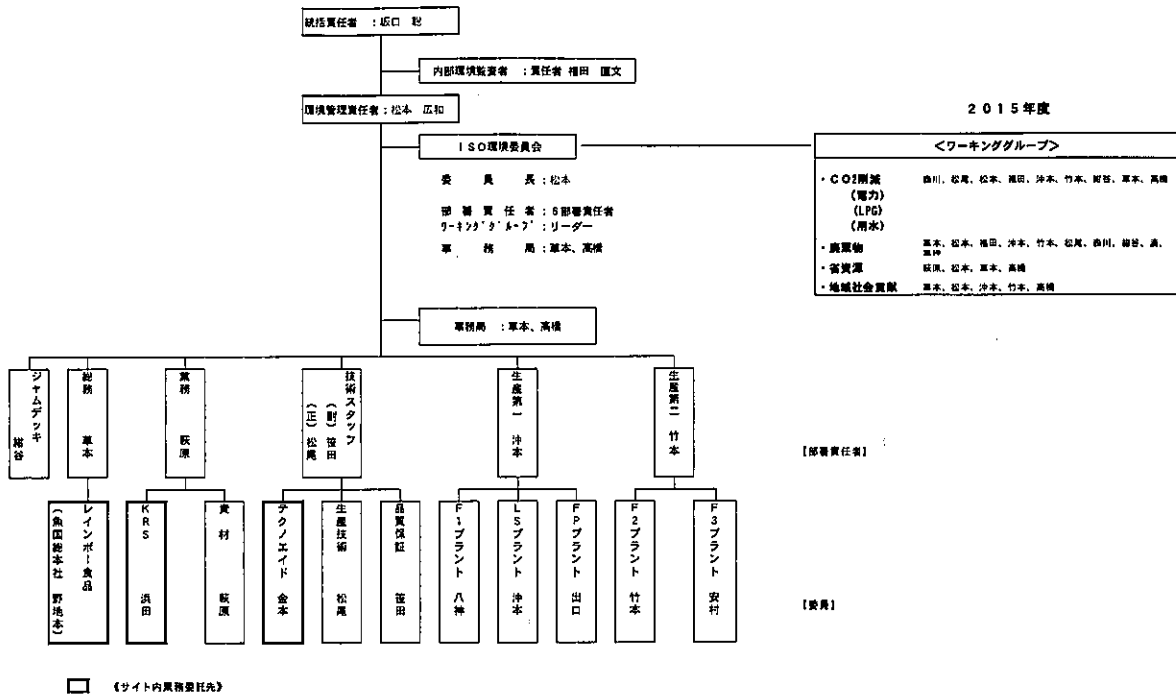
	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

省エネ、省資源活動の取り組みにて推進・点検を行う。



(2) 実施状況の点検・評価

省エネ、省資源活動の取り組みにて、温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行うとともに、定期的に評価、見直し等を行い継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

- ・アヲハタグループ社会・環境報告書にて、削減状況等掲載。